

地域情報を探す道しるべ

いなぎ せんそう
稲城と戦争



2020年10月

稲城市立中央図書館 編集・発行

●稲城と戦争


だい 2 じせかいたいせん せんじ か しな い と う じ い な ぎ む ら
 第2次世界大戦の戦時下に、市内（当時、稲城村）には
 りくぐん か こうしょう た ま か や く せい ぞう じょ
 陸軍火工 廠の多摩火薬製造所が建設されました。また、
 じいん こ がく どう そ かい さ き
 六つの寺院は 200 名を超える学童の疎開先になりました。

●入門的な情報源

『文化財ノート』No.26 火工 廠多摩火薬製造所

『文化財ノート』No.53 学童の集 団疎開

●図書を探す

※  印は小学生にも使える内容です。

※ § 印は資料の目次項目、その他は資料の内容説明となります。

①歴史

タイトル	内 容	請求記号
『稲城市史 下巻』	§ 第五編 近代の稲城「戦時下の稲城」 § 第六編 現代の稲城「戦後復興への道」	K21/1
『稲城市史 資料編 4』	§ 近代の稲城「戦時下の稲城」 § 現代の稲城「戦後復興への道」	K21/1
『稲城のあゆみ 改訂版』	§ 戦争の時代と稲城	K21/1
『稲城の歴史年表 改訂版』	巻末に索引あり	K21/1
『写真で見る稲城今昔』	§ 第 10 章 戦争と庶民の暮らし ：出征、仏具の供出、青年訓練所、火工廠の 配置図、建物、人物、弾薬庫など	K21/1
『夏草と銃声』	著者 赤木由子による児童文学。「稲城町の引上 寮」が舞台の一つになっている	K92/ア

かこうしょう
②火工廠

タイトル	内 容	請求記号
『文化財ノート』No.26 火工廠多摩火薬製造所	火工廠の概要と歴史、配置図	K24/1
『多摩火工廠懐古帖』	火工廠に勤務した著者による業務記録	K392/ヤ
『東京第二陸軍造兵廠 多摩製造所回顧 ～戦後五十年をふりかえって～』	火工廠の勤務員による回顧録 ※構内配置図あり	K392/ト
パルテノン多摩資料叢書 第6集 『多摩火工廠 勤労働員日記』	女学校に在籍し、火工廠に勤労働員した 著者による日記	K392/タ
『稲城市文化財研究紀要 第3号』 研究論文「旧東京第二陸軍造兵廠 多摩火薬製造所本館について」	多摩火薬製造所本館の成立と利用の変遷 ※詳細な構内配置図、変遷年表、本館の平面図・ 立面図等、写真あり	K24/1
『稲城市文化財研究紀要 第12号』 資料紹介「火工廠多摩火薬製造所 関係の新資料紹介」	戦後、火工廠本館の建物が中学校校舎 として使用された事に関する資料の紹介	K24/1
『横山回顧 ほろびしものに思をはせて』	火工廠関係者による回顧録	K392/タ
『多摩の戦争遺跡』	写真による多摩地域の戦争遺跡の記録	K22/マ

そかい
③疎開

タイトル	内 容	請求記号
『文化財ノート』No.53 学童の集団疎開	学童疎開に至る背景、疎開先となった寺院 や生活の様子	K24/1
『稲城市文化財研究紀要 第3号』 研究論文「学童疎開と稲城」	東京における学童疎開の概要、稲城での学 童疎開の詳細と生活の様子	K24/1

『稲城の教育 100 年のあゆみ』	§ 戦争中の学童 –疎開学童と地元の学童–	K372/イ
『疎開の子と教師群像』	疎開した学童らの詩や作文、教師による手記	T93/ク
パルテノン多摩歴史ミュージアム企画展 『街から子どもがやってきた 戦時下の多摩と学童疎開』	多摩地域における学童疎開 学寮や生活の様子など。写真多数あり	K22/ハ°
『はばたけ山中開校七十周年記念誌』	稲城に疎開した学童らの母校の記録	T373/シ

●小説と映像資料

タイトル	内 容	請求記号
『 <small>にちりん いさん</small> 日輪の遺産』	浅田次郎原作の小説 多摩火工廠が舞台になっている	913.6/ア
『 <small>にちりん いさん</small> 日輪の遺産』	上記を原作とした映画	D7AF/ニ

●聞き書きや証言

タイトル	内 容	請求記号
『ふるさとむかしむかし』 『ふるさとむかしむかし 続』	市民への聞き書き ※戦時中の内容あり	K95/キ K95/キ
『日本が戦争をしていた その時私は 次の世代に伝えたい –平尾の人たちの証言–』	平尾に暮らした市民による証言	K39/ヒ
『昭和の平尾 第Ⅱ部 戦争のころ』	平尾から出征した兵士の記録など	K22/ワ

●インターネットで探す

○稲城市ホームページ

歴史・文化：映画「日輪の遺産」の紹介

<https://www.city.inagi.tokyo.jp/kanko/rekishi/nichirinnoisan.html>